

-vol.10- 小さくても、
灯りをともしよう。

「田中綾音の
きしらをめぐる336日」
緑のふるさと協力隊活動報告



きしたんカフェ。最後は歌と踊りと手拍子と笑顔で終了♪



子牛「あやね」がセリ市へ。とってもかわいい牛でした！

行事が一つずつ終わっていきます。振興会ごとの行事から、学校行事、町の駅伝大会まで…。そして2月14日、私がいるうちで最後の賑やかなイベント「きしたんカフェ」が終わりました。岸良おとめ工房のハート形こもちやデイサービスきしら手作りの岸良グッズを販売し、町内外からのお客様をもてなしました。天気にも恵まれ、外の席も常に満席。地元の人にもよそからの人にも、じっくり楽しんでいただけだと思います。素人ばかりですが「とにかくできること

をやってみよう！」の小さな火が寄り集まって、カフェという立派な炎になりました。

岸良には他にも「振興会のために」「岸良のために」「故郷のために」という気持ちをもっている人、行動している人がいます。内之浦や高山にも、きっとどっさいますよね。そんな火が、たとえ小さくてもたくさんあれば、町全体が明るくなるのでしょうか。今ある火・灯りそな火を絶やさないと、新鮮な風を常に送り込むことが、肝心だけれど難しいんですよえ…。

田中 綾音 (たなか あやね) 1992年神奈川県鎌倉市生。東京外語大学を休学し、緑のふるさと協力隊に着任。

踊る*「地域おこし協力隊」

じょう
JOUのきもつき活動レポート



踊る地域案内所の3年間

毎年年末年始に開く踊る地域案内所ではプロのアーティストに滞在創作してもらって「アーティスト・イン・レジデンス」をしています。今、世界中にそうした滞在型アート施設があり、滞在費を作家が支払う所、逆に交通費や滞在費を用意して招聘してくれる所など様々です。

協力隊としての初事業もそれで、初ゲストはアフリカ系フランス人ダンサー。ダンス作品と一緒に作りました。作品は継続して創作され、町の宣伝とともに

にスイスツアーで上演されました。2年目は電子音楽の神様、クリスチャン・ヴォーゲル氏が滞在レコーディングし、昨年CDがリリースされました。今冬3年目はオランダと東京の映像作家がそれぞれ町のドキュメンタリー映像を残してくれました。

暖かくなったらきやんせ空き家再生の川上の家で上映会をしたいです。「小さな映画祭」もいかもしれないですね！一緒に面白いことしたいという方、大募集中です！！



川上の家で窓をスクリーンに見立てての上映会



町内で行われた撮影の様子

JOU (じょう) 2012年、東京より肝付町川上に移住。肝付町踊る地域おこし協力隊、ダンス作家として国内外でも活動中。JOUは「城之尾」だから(波見荒瀬に祖母の墓が有る)。武蔵野美術大学非常勤講師

